

# 平成30年度

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

# 事業報告書

一般財団法人健康・生きがい開発財団

平成30年度は、新5か年計画の初年度にあたり、アドバイザー養成事業の再構築による登録会員維持対策の検討、フレイル予防事業の推進、100歳大学普及検討委員会の設置、アドバイザー全国大会の主催、健康生きがい学会大会への支援、体制面、収支面での財団改革に取り組んだ。

当期における実施事業の概要は以下のとおりである。

## I 財団の事業

### 1. 健康生きがいづくりアドバイザー養成・認定関係の事業

#### (1) 養成講座の実施

各地域のアドバイザー協議会との共催等による養成講座

受講者計 56名(83名) ( )内は平成29年度(以下同)

実施協議会	実施日	受講者数
(一社) 神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会	4/1～5/6	12
和歌山県健康生きがいづくりアドバイザー協議会	7/8～7/22	10
川口市健康生きがいづくりアドバイザー協議会	9/8～9/29	4
栃木県健康生きがいづくり協議会	9/9～9/30	2
長岡健康生きがい創生ネットワーク	9/2～11/4	7
山梨県健康生きがいづくりアドバイザー協議会	10/6～10/27	4
健康生きがいづくり品川協議会	10/13～10/27	1
NPO法人健康生きがいづくり新潟	10/13～10/27	5
健康生きがいづくり千葉県連絡協議会	11/16～11/21	1
(一社) 奈良県健康生きがいづくり協議会	11/23～12/9	4
徳島県健康生きがいづくりアドバイザー協議会	1/26～2/9	6

#### (2) 通信講座の実施(産業能率大学と提携し実施)

30年度通信講座受講(申込)者は23名(33名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3	3	1	2	1	0	1	4	1

1月	2月	3月
3	3	1

#### (3) eラーニング講座の実施

受講者数: 3名(5名)

#### (4) 資格認定研修会の実施

受講者計 90名

実施協議会	実施日	受講者数
広島県健康生きがいつくりアドバイザー協議会	4/28、4/29	7
健康生きがいつくり品川協議会	5/12、5/13	7
健生ネットワーク京都	6/23、6/24	6
(一社) 神奈川健康生きがいつくりアドバイザー協議会	7/1、7/16	11
一般財団法人健康・生きがい開発財団	7/21、7/22	5
和歌山県健康生きがいつくりアドバイザー協議会	8/4～8/5	11
健康生きがいつくり品川協議会	11/17、11/18	4
長岡健康生きがい創生ネットワーク	11/24、11/25	7
NPO法人健康生きがいつくり新潟	12/15、12/16	7
(一社) 奈良県健康生きがいつくり協議会	1/19、1/20	7
一般財団法人健康・生きがい開発財団	1/26、1/27	7
健康生きがいつくり千葉県連絡協議会	2/21、2/22	4
徳島県健康生きがいつくりアドバイザー協議会	3/17、3/18	7

※資格認定者数 年度合計：88名（115名）

累計：5,858名

(5) アドバイザー新教科書の制作

平成30年6月、理事長方針に基づいてテキスト制作検討委員会を設置した。

委員長：吉田隆幸財団副理事長 副委員長：清水国雄

委員会を中心に、全面的な改訂に向け、検討・討議した。

原稿執筆から編集・校正を進めた。完成は2019年7月末の予定。

科目名	執筆者
第1 超高齢社会の展望と人生100年時代の生き方	松田 誠一（第1・2章） 卯尾 直孝（第3・4章）
第2 健康生きがいつくりアドバイザーの役割と使命	松田 誠一（第1章） 長橋 輝明（第2・3・4章）
第3 人生100年時代の健康づくり	橋爪 武司
第4 超高齢社会の社会保障	白井 幸久
第5 地域コミュニティ活動と社会貢献	大下 勝巳
第6 人生100年時代の家庭経済	大川 洋三
第7 人生100年時代の就労	曲尾 実

(6) 機関誌等の発行

- ・季刊いきがい138～141号の発行  
平成30年4月、7月、10月、31年1月に1,500部作成し、登録アドバイザー等に配布した。
- ・Webいきがいの発行  
インターネットで毎月1日に配信した。

(7) 第26回健康生きがいづくりアドバイザー全国大会の開催

開催日 平成30年11月10日(土)

開催場所 東京大学(本郷キャンパス)工学部2号館213号大講堂  
(東京都文京区本郷4-15-14)

参加人数 175名

テーマ 「人生100年時代 人のつながりで新たなステージへ」

実施内容:

- ・基調講演「人生100年時代 新たなステージへの展望とセカンドライフの創造」  
辻 哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、財団理事長
- ・特別講演「人生100年時代の理想の生き方・老い方」  
関根 千佳 同志社大学政策学部大学院客員教授
- ・第1部 財団新5か年計画概要 松浦 隆志 財団常務理事
  - ①基本方針及び組織・体制
  - ②主要プロジェクト(AD拡大計画、フレイル予防事業、100歳大学)
- ・第2部 シンポジウム
  - ①80歳からの生き方アンケート調査結果について 吉田 隆幸 財団副理事長
  - ②人生100年時代、80歳からのアドバイザーの生き方
- ・第3部 協議会・全国7ブロック活性化につきディスカッション
  - ①分科会 第1分科会:AD拡大計画 第2分科会 フレイル予防事業  
第3分科会:100歳大学
  - ②全体セッション 3分科会報告と辻理事長講評
- ・総評 國松 善次 当財団副理事長

(8) 財団と協議会とアドバイザーの三位一体の取組み体制の確立

新5か年計画の理解と協力要請のために全国7つのブロック会議(北海道・東北/関東・首都圏/中部/北信越/近畿/中国・四国/九州)への参加し、説明を行った。

また、季刊いきがい、全国大会などを通じて、新5か年計画の理解促進を図った。

## 2. 生きがい情報士養成・認定関係の事業

- (1) 生きがい情報士資格審査試験の実施  
各指定養成校で実施（平成30年12月～平成31年2月）  
受験者数：146名（159名）（ ）内は29年度
- (2) 生きがい情報士通信の発行  
通信 Vol. 25 を平成31年3月に作成、配布。
- (3) 平成30年度生きがい情報士指定養成校の認定  
指定養成校として8校（9校）、学科数では11学科（12学科）を認定した。  
（ ）内は29年度
- (4) 生きがい情報士の認定  
平成30年度においては、生きがい情報士として202名（202名）を認定した。  
（ ）内は29年度  
生きがい情報士の認定者の累計数は11,788名。

## 3. フレイル事業

人材養成システムの確立とフレイルチェックデータ電子化処理システム構築に向け、取り組みを行った。

- (1) 人材養成システムの確立  
28、29年度で試行実施したフレイルトレーナー養成の成果を踏まえ、基本となるガイドライン作成に着手。IOGでの検討（現在、進行中）結果を待ち、次年度に成案を作成する見通し。  
また、フレイル予防事業を開始する自治体からの要請に応え、フレイルトレーナーの派遣調整を実施。
- (2) フレイルチェック電子化システムの構築  
基本システム（データ処理&レポート：Phase1）が9月に完成した。麻生情報システム、富士ゼロックス、IOG（神谷氏）と連携協力を図り、柏市、飯塚市、紀の川市で実証試験を行い、10月より事業ベースでの契約を締結した。  
また、神奈川県フレイル電子化計画（2019年度から電子化導入）への対応を行った。自治体向けの説明書・ツールなどの作成に取り掛かった。
- (3) フレイルチェック計画・実施市町村への資材の供給、情報提供など  
全国約10市町村（境港市、静岡市など）への資材の供給を実施。  
新たにフレイル予防事業の導入を検討する自治体等からの照会に対して、情報提供を行った。  
2月5日にはIOG飯島勝矢研究室主催の「第1回全国フレイルサポーター・フレイルトレーナーの集い」を後援した。

## 4. その他の事業

### (1) 100歳大学

100歳大学の全国普及を目指して、マニュアルとカリキュラムの作成に取り組んだ。

#### ① 100歳大学普及検討委員会の設置

滋賀県栗東市・湖南省の実践事例（成果）を基に、「健康生きがいづくりアドバイザー」を通して100歳大学の全国的普及展開を図るべく財団に普及検討委員会を設置した。

委員長	國松 善次	財団副理事長(AD)
委員	村川 浩一	東京福祉大学教授
〃	関根 千佳	同志社大学政策学部大学院客員教授
〃	宇野 茂樹	栗東市福祉部部長
〃	花井 鍊太郎	SUZUKA 産学官交流会副会長(AD)
〃	市野 弘	和歌山県健康生きがいづくりアドバイザー協議会会長(AD)
〃	宮川 俊夫	一般社団法人健康・福祉総研常務理事(AD)
〃	池田 和康	栗東市100歳大学28会世話人(AD)
〃	江口 郁子	長岡健康生きがい創生ネットワーク副会長(AD)
〃	神山 弓子	100歳大学講師(AD)

事務局 大和 哲 健康生きがいづくり千葉県連絡協議会 (AD)

#### ② 委員会の開催

7月に第1回の検討委員会を開催し、その後3回の委員会を開催した。

	開催日	開催場所	主要事項
第1回	7月17日	東京大学本郷キャンパス	委員会設置
第2回	9月5日	龍谷大学瀬田キャンパス	栗東100歳大学視察など
第3回	10月10日	ここびあ(湖南省)	湖南省100歳大学視察など
第4回	1月24日	財団会議室	まとめに向けての検討

同時並行して、カリキュラム検討作業チームを立ち上げ、計4回会合を持ち、検討作業を行った。(委員長：村川 浩一)

### (2) 健康生きがい学会第9回大会への支援

主催：健康生きがい学会

開催日：平成30年10月8日(日)

開催場所：大妻女子大学千代田キャンパス(東京都千代田区)

大会テーマ：「健康生きがいを支える福祉機器・ICT・ロボットの役割」

～人生100年時代を迎えての高齢者の生き方～

辻哲夫学会理事長の基調講演、首都大学東京名誉教授の星且二氏の特別記念講演、7つの分科会（①在宅医療の推進と生きがい、②福祉機器・ICT・ロボットの活用と生きがい、③共生社会と生きがい、健康生きがい活動、障害者の就労と暮らしを支える生きがい支援、④高齢者の生きがい支援、⑤子ども・若者の生きがい支援、⑦フレイル予防）が行われ、参加者は160名を超えた。

## II 財団の運営等

### 1. 理事会・評議員会等の開催

(1) 第1回理事会 定款第37条に基づく書面表決による開催

書面表決日 平成30年5月31日

議題 第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成29年度収支決算

第3号議案 評議員会の招集について

(2) 第1回評議員会

日時 平成30年6月30日

場所 東京ガーデンパレス

議題 第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成29年度収支決算

第3号議案 評議員の選任について

第4号議案 理事の選任について

(3) 臨時理事会 定款第37条に基づく書面表決による開催

書面表決日 平成31年3月8日

議題 第1号議案 評議員会の招集について

(4) 第2回理事会

日時 平成31年3月22日

場所 東京ガーデンパレス

議題 第1号議案 基本財産取崩しの件

第2号議案 平成31年度事業計画

第3号議案 平成31年度収支予算

(5) 第2回評議員会

日時 平成31年3月22日

場所 東京ガーデンパレス

議題 第1号議案 基本財産取崩しの件